

<題材> 幼児の生活と家族② ～幼児の体の発達～ (教科書 p.186~p.187)

<課題> 中学生の自分と比べながら、幼児の体の発達の特徴について考えよう。

1 教科書 p.186の資料を参考にして、幼児のものと中学生の今使っているものを比べて、その違いについて気付いたことを書こう。【靴、衣服、椅子、箸】

靴	衣服
椅子	箸

2 次の文は、「幼児の発達と個人差」についての説明です。教科書 p.186を参考にして、文の()に当てはまることばを書こう。

(①)は、心身の発達が(②)時期です。子どもの健やかな成長には、子どもが(③)する家族や大人の(④)な援助が必要です。幼児の発達を理解するうえで、個性豊かな存在である幼児一人一人と向かい合しましょう。そして、それぞれの(⑤)や(⑥)に気づき、幼児が(⑦)育とうとする力を支えることが大切です。発達の早い・遅いや、(⑧)の違い、得意・不得など、それぞれの(⑤)を尊重しましょう。

3 教科書 p.187の図4をもとに、幼児と中学生の体型の違いを、次の項目から調べて書こう。

身長に対しての頭の大きさ
手足の長さ
その他

4 教科書 p.187の資料「幼児期の身長と体重の発達」を参考に、()に当てはまる数字を書こう。

時期	生まれたとき	1歳	4歳
身長	約()cm	約 75 cm	約()cm
体重	約()kg	約()kg	約 15 kg

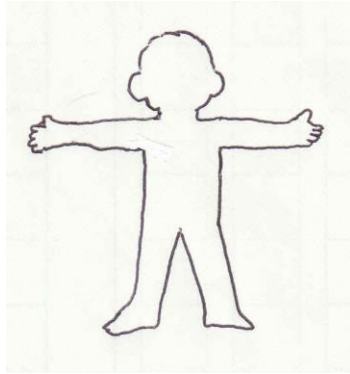
生まれてから、1年間または、4年間の成長は、中学生の3年間の成長とどのような違いがあるかを考えてみよう。

- 身長は1歳で生まれたときの約1.5倍、4歳で約()倍になる。
- 体重は1歳で生まれたときの約()倍、4歳で約5倍になる。

5 教科書 p.187を参考にして、「運動機能」について調べて書こう。

(1) 幼児の体や運動機能の
発達を方向を、→で表そう。

(2) 幼児は、運動機能の発達によって、どのような
変化がありますか。また、発達に応じて、何を
用意することが大切ですか。



どのような変化か
何を用意するか

6 教科書 p.187を参考にして、幼児と成人の「生理的機能」を比べてどのような違いがあるかを調べて書こう。

呼吸数・脈拍数	体温
体温の調節	すいみん時間

7 上の1～6までの学習を振り返り、幼児の体の発達について、中学生の自分と比べて気付いたことをまとめよう。

【やってみよう】

安全に配慮して、4歳児ぐらいの目線になって(しゃがんでみて)、周りのものを見つめてみよう。
それをもとに、幼児にとっての「安全」について考えてみよう。